

■…このところしめり勝ちの市場が日銀の10兆円追加金融緩和に好感実態経済の産業界もこれで一息つけるのでは。産学立国として機械が動き、働く人たちがうるおい、優秀なモノが出れば、消費者の固い財布のヒモが緩むというものです。米國も11月の大統領選挙の手前、同じような刺激策を。反日、反米デモももう気にしないことですね。

■…それにしても中国の反日感情が突出しての全国的な反日デモにはいささか驚き、がっかりもしました。「小日本」はまだしも「日本人は死ぬ」「日本人は地球上から消えろ」と程度の低い悪口を叫んでいる様子が世界に報道されました。中国国民の民度が問われるでしょうね。在日の中国人たちは顔をしかめ、「なんでそこまで」とこぼす。デモは中国政府のツルのひと声で終息したものの後味の悪いシーンでした。

■…拷問や性的暴力などが激しい國は3國一國連安保理は「子供と武力紛争」報告でシリア、リビア、マリ(西アフリカ)を名指して非難しました。子供が兵士になって戦闘に

参加、銃で射殺されたり拷問に。國の民度を問うのにこんな悲劇、非人道の物差しはありません。世界的な対応という呼びかけに中国、ロシア、パキスタン、アゼルバイジャンは「3カ國に限ってやったら」。それぞれ後暗い所、身に覚えがあるからでしょうか。

■…わが國の女厚労大臣、「子ども家庭省(仮称)をつくりましょう」と意欲満々。省庁の削減、公務員減らしなど官僚制の抜本的改革が必至の国民的要求なのに、なんともマの抜けたお話。家庭がそれぞれの知恵と工夫、愛情をもって子育てをする、今日本が世界に誇れる大きな要因だということ、この大臣はご存じないのでしょうか。もう今ごろはおやめになっていてしょうか……

■…「倒産」の憂き目を見た日航が再生、めどたい話です。かつては「日本の翼」として世界に羽ばたいていたのが経営不振に。半官半民の弊で。旧運輸、郵政省の高級官僚や政治家の子女が実力も無いのにコネ入社。機長やスチュアデスはサラリーマンの憧れの的だったのが、ストライキはやる、仕事はサボる、大きな態度で接客態度は最低、「お前たち、

乗せてやる」では乗りませんよね。こちとら格安の「スカイマーク」ファンですが、日航が改善されればためし乗りも良いですよ。

■…早く2大政党がともに確立されてほしいもの。素人目にも民主党は心入れ替えてやるのを期待するかありません。「日本維新の会」や「国民の生活が第一」などぶざけた素人集団は願ひ下げ。ここところ、小沢、鳩山某の「露出度」がゼロ近くなってひと安心していたのに「テレビ人間」の典刑橋下某が見る者の胃を痛め放題。これもわが國に2大政党政治が熟していないからです。東原某などがまたぞろさ迷い出てくるようでは政治もおしまい。

■…「ワセダ、バンザイ」といいうようになるのが早大アメフト部約30人の女風呂のぞき行為。ついでに20人が未成年下級生に酒を飲ませたことも「バンザイ」ですね。ウィットやジョークに縁の薄い野郎どもが多過ぎます。公序良俗を守るのはいいけれど、世の中、ユーモアがなければギスギスしてつまらない。人間、若いうちにさまざまな経験を積んで大人になるものです。

月刊公論 MONTHLY
KORON

11月号 第45巻11号

平成24年11月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦

株式会社社界通信社

〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル

TEL.03-5379-5611(代)、FAX.03-5379-5616

印刷所
取次店

株式会社廣濟堂

トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。

●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。